

# 商工建設常任委員会会議録

令和3年1月21日

場 所 第5委員会室

令和3年1月21日(木曜日)

議事課主査 増本雄一

午前9時57分開会

会議に付託された議案等

○報告事項

- ・中小企業支援ネットワークの再構築について
- ・春季プロ野球、Jリーグキャンプの状況について

出席委員(8人)

委員 長	武田 浩一
副委員 長	坂本 康郎
委員	外山 衛
委員	山下 博三
委員	西村 賢
委員	日高 利夫
委員	田口 雄二
委員	前屋敷 恵美

欠席委員(なし)

委員外議員(なし)

説明のため出席した者

商工観光労働部

商工観光労働部長	松浦 直康
商工観光労働部次長	岩本 真一
観光経済交流局長	丸山 裕太郎
商工政策課長	山下 弘
経営金融支援室長	長倉 佐知子
観光推進課長	高橋 智彦
スポーツランド推進室長	飯塚 実

事務局職員出席者

議事課主査	井尻 隆太
-------	-------

○武田委員長 ただいまから商工建設常任委員会を開会いたします。

まず、委員会の日程についてであります。お手元に配付いたしました日程案のとおりでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○武田委員長 それでは、そのように決定いたします。

次に、報告事項の説明を求めます。

なお、委員の質疑は、執行部の説明が終了した後にお願いいたします。

○松浦商工観光労働部長 おはようございます。商工観光労働部でございます。どうぞよろしくお願いたします。

まず初めに、資料にはございませんが、新型コロナウイルスの関係で私から少し御報告をさせていただきたいと思ひます。

年末年始にかけまして新規の感染者の数が急増したことを受けまして、1月7日に本県独自の緊急事態宣言が発令されたところでございます。あわせまして、全県の飲食店に対しまして、午後8時以降の営業の自粛を要請しているところでございます。その後の経過の中で、爆発的な感染拡大はある程度抑えられた状況ではありますけれども、クラスターの散発、それから新規感染者数も本当に安心できるまでは減っていない状況、それから県外においては感染がまだまだ広がっている状況でもあります。そういったことを踏まえまして、昨日の本部会議の中で、この緊急事態宣言を2月7日まで、2週間延長するということを決定したところでございます。あわせまして、飲食店等に対する時短要請も同様に県下全域でお願いをするということになっ

たところでございます。

このような中で、国が緊急事態宣言を発出している地域におきましては、飲食店以外にも経済的に影響が非常に出ているということで、そこは国が対応を行うという考えになっております。状況としては本県も同じであるということです。ですから、本県についても国のほうにしっかり対応していただくように、あらゆるチャンネルを通じて要望しているところでございます。

本県の状況でありますけれども、飲食店だけではなく、取引のある事業者の方々も直接的な影響を受けていますし、外出の自粛やイベントの中止・延期等により経済活動そのものが低迷をしていることで、経済全体に影響が出ています。

このような中、今、国に対していろいろ要望している最中でありますので、県としてどこまでやるべきかについてはまだ手探りの状況ですけれども、国の検討状況をしっかりと見極めながら、少なくとも県としてはどのようなことをやっていくべきなのか、市町村と併せてどのようなことができるのか、早急に考え方を整理してお示ししていく必要があるだろうと思っております。そのような検討を鋭意進めているところでございますので、御理解を頂ければと思っております。

以上がコロナに関する御報告でございます。

それから、当初予定しておりました本日の報告でございます。お手元の常任委員会資料の目次のところにありますように、2件ございます。中小企業支援ネットワークの再構築について、それから、春季プロ野球、Jリーグキャンプの状況について、それぞれ担当課のほうから御説明させていただきます。

なかなか大変な状況でありますので、これは

我々執行部だけではなくて、議会の皆様のいろいろな御指導、御鞭撻が必要であると思っております。どうぞよろしく願いいたします。

私からは以上でございます。

**○長倉経営金融支援室長** 常任委員会資料の1ページをお開きください。

経営金融支援室から、中小企業支援ネットワークの再構築について御報告いたします。

まず、1の背景ですが、コロナ禍におきまして、新規の融資や既往債務の条件変更などの各種資金繰り支援策が県内中小企業の事業継続に一定の効果を見せているところでございますが、点線四角囲みの中に参考として記載しておりますように、県の制度融資だけでも、12月までに約1,543億円とかつてない規模の資金が事業者へ渡っている状況でありまして、今後、借入金返済等の課題を抱え、倒産または休廃業を選択する企業が増加する懸念がございます。

そこで、これまでは、まずは資金繰り支援ということで金融支援を行ってまいりましたが、今後は、経営改善や事業再生支援の取組を強化する必要があると考えているところでございます。

具体的な取組については、2の対応方針を御覧ください。

関係機関が連携して経営改善、事業再生支援を行う枠組みとしましては、平成24年度に中小企業庁の要請により設置いたしました「中小企業支援ネットワーク」がございしますが、設置してから相当の年数を経過し、その間に関係する支援機関が増えるなど、状況も変化しておりますので、今回、コロナを契機に改めて関係機関の連携強化を図りますとともに、実効性のある支援体制とするため、構成機関の見直し等を行い、県と信用保証協会を共同事務局として再構

築、再スタートさせることといたしました。

ネットワークの構成としては、(1)の表にありますとおり、①の全体会議としての「ネットワーク会議」と②の経営サポート会議としての「みやざき経営アシスト」の2つの会議体で運営してまいります。

①の「ネットワーク会議」では、概要の欄に記載しておりますように、経営改善、事業再生等の支援施策の共有やスキルの向上を図るため、定期的に情報交換や研修を実施し、構成機関としては、金融機関、商工3団体のほか、中小企業支援機関として、中小企業再生支援協議会、産業振興機構等に、また、士業団体からは、弁護士会、司法書士会等に参画していただきまして、アドバイザーとして、九州経済産業局、九州財務局に御協力を頂くこととしております。

②の「みやざき経営アシスト」は従来から信用保証協会が運営しているもので、個別の企業につきまして、経営改善、事業再生に向けた具体的な支援方針を協議してまいります。

右のページに、ネットワークによる支援のイメージを示しておりますので、御覧ください。

財務上の課題を持つ事業者の相談をまず受けるのは金融機関や商工会・商工会議所等になると思いますけれども、そちらのほうから、一番左の矢印のところ、経営状況が深刻で経営再建に向けて条件変更や債権放棄等の金融支援を必要とする案件であれば中小企業再生支援協議会へ、また、一番右の矢印のところ、主に保証付融資先のうち、返済条件等の変更について金融機関の間の調整を必要とする案件なら「みやざき経営アシスト」へというふうに、事業者の状況に応じてつないでいただきまして、士業専門家等とも連携しながら個別の支援を行ってまいります。

また、こうした個別支援を随時行いながら、一番下にあります「ネットワーク会議」では、情報交換や研修を通して実務担当者同士のお互いに顔の見える関係づくりを行い、連携の取れた実効性のある支援につなげてまいりたいと考えております。

1ページに戻っていただきまして、(2)当面のスケジュールですが、来月2日に第1回のネットワーク会議を開催する予定としておったところですが、昨日、コロナに関する県独自の緊急事態宣言に伴う行動要請等の期間が延長されたことから、改めて日程調整を行って進めていくこととしております。

最後に、資料には記載しておりませんが、関連して1点、御報告がございます。

中小企業庁のほうから1月18日月曜日付の事務連絡がありまして、県の制度融資において全国統一要件で取り扱っております新型コロナウイルス感染症対応資金につきまして、融資上限額を現行の4,000万円から6,000万円に引き上げることとなりました。

今後、要綱改正や金融機関へのアナウンス等を経て2月1日から適用しまして、3月末の保証申込分までの取扱いとすることとしております。

私からの説明は以上でございます。

**○飯塚スポーツランド推進室長** 3ページをお開きください。

春季プロ野球、Jリーグキャンプの状況についてであります。

1にありますとおり、1月12日にプロ野球とJリーグ合同の新型コロナウイルス対策連絡会議が開催され、その中で、予定どおりキャンプを実施すること、あわせて、観客等の取扱いは地元自治体の方針に従って対応することが決定

されたところです。

2の(1)は、プロ野球、Jリーグにおいて取られる主な新型コロナウイルス感染症対策です。

プロ野球もJリーグも、選手、スタッフがキャンプ地入りする前にPCR検査で陰性確認を行い、キャンプイン後も1週間に1回程度、定期的に検査を行うことになっています。

また、プロ野球では、球団OBを含む評論家や報道陣、受入れ自治体や宿泊ホテル関係者等にもPCR検査の要請をすることになっています。

なお、Jリーグにおいても報道陣に同様の対応を行うことを検討されています。

(2)は、球団・チームが受入れ市町と連携して行う対策です。

特にプロ野球球団から強い要望もあり、体調不良者が発生したときのスムーズな医療受診体制が確立されているところです。

受入れ市町が中心となり、あらかじめ受診する医療機関を決めており、PCR検査まで迅速にできる体制が取られています。

これは、昨年11月のフェニックスリーグの際にもうまく機能し、球団からも評価を頂いているもので、今回も受入れ市町を中心にしっかり対応していくことにしています。

4ページの3、県、受入れ市町からの要請事項です。

このような万全な対策が取られているところではありますが、国の緊急事態宣言、県独自の緊急事態宣言下であり、キャンプを通じて感染者数を増やさないということが重要であります。

こうしたことから、受入れ市町とともに、プロ野球球団、Jリーグチームに対して、下の枠内(1)に記載しているとおり、国の緊急事態

宣言期間中または本県独自の緊急事態宣言期間中においては、無観客でのキャンプ実施、県民に求めるものと同様の最大限の行動要請の遵守を要請したところであります。

最後に、4の要請を受けての球団、チームの対応であります。

本要請につきましては、県から日本野球機構と日本プロサッカーリーグに対して要請を行い、あわせて、受入れ市町より、球団、Jリーグチームに対して個別に要請を行ったところであります。

プロ野球7球団につきましては、1月15日の記者会見での要請内容の発表後、日本野球機構でも要請を受ける旨の記者会見が行われ、同日中に各球団ホームページで無観客実施の発表等が行われたところであります。

また、Jリーグ17チームにつきましても、多くのチームがホームページで無観客実施を発表されており、日本プロサッカーリーグからも要請どおり受けるということを確認しています。

なお、本日まで個別に各チームに連絡を取った結果、県内でキャンプを行う全てのJリーグチームが県の要請に応じた対応をすることを確認しています。

キャンプ実施予定チームの詳細につきましては、次のページに添付しておりますので、後ほど御覧ください。

Jリーグチームにおきましては、今年は8チームがキャンプ地を公表せず、宮崎県内、宮崎市市内としております。

県といたしましては、キャンプが安全、安心に行われることが第一と考えており、要請に沿ったキャンプの実施をお願いしていきたいと考えています。

以上です。

○武田委員長 執行部の説明が終了しました。質疑はありませんか。

○西村委員 中小企業支援ネットワーク再構築について、今、国も県も企業の支援のためにいろんな協力をしていただいているところですが、既に融資の実績が1万数百件であります。既にやむなく廃業、倒産等をしてしまって返済ができない方、今後の返済がもうかなり厳しい方が今の時点でどのぐらいいらっしゃるのでしょうか。

○長倉経営金融支援室長 手元に数字がございませんが、コロナ関連で融資をした中で、信用保証協会による代位弁済が行われたものも数件ございます。

○西村委員 数件あると既に聞いていたものですから、もちろんこれが広がっていかないように。あとは返済の期日が来たときに、そこで初めて明るみに出る経営状況も多々あると思います。その場合には、先ほど言われたような再生支援協議会等々で返済期日を延ばしたりとか、そういうことが行われるかと思いますが、こういうことがさらに1件、2件、明るみになっていくと、あまり想像したくないのですが、連鎖する可能性があると思いますし、逆にもう早く楽になりたいという経営者側の考えにつながりかねないという心配もあるんです。そういった意味では、中小企業再生支援協議会というのは非常に重要だと思いますので、県が緊急事態宣言を出しているからこのネットワーク会議の開催を延期するというのも、ちょっとどうなのかなと私は思っております。今はオンライン会議など、直接人が会わなくても会議ができる体制を整えて当然なので、そういったことを踏まえて、このネットワークの支援がうまく早く確実に回るように、再構築に向けてスケジュールを

前倒ししてでも取り組んでいただきたいと思います。

○長倉経営金融支援室長 おっしゃるように、現在では数件という代位弁済ですけれども、融資の据置期間が終了した後、元本の返済が始まったときがまず第1段階で危ないと懸念しております。

金融機関でも毎月の金利の返済等をチェックしておりますので、その中で企業の状況をいち早くつかんでいただいて、再生支援協議会であるとか保証協会が行います経営アシストのほうに早い段階でつないでいただくことが重要になるかと思っております。

このネットワーク会議につきましても、現在、再生支援協議会や経営アシストが動いていないわけではないんですけれども、改めて関係者間の顔合わせといいますか、スクラムを組んでやっていきたいと思いますところをやりたいために対面だと考えているところです。しかし、それで遅くなるといけませんので、コロナの状況も見ながら、開催方法も場合によってはリモートでということも頭に入れて日程を調整していきたいと考えております。

○山下委員 昨日、緊急事態宣言の延長による時短要請等がなされましたけれども、前は14日間だったんですね。そして、今回はさらに16日間の延長が決まったのですが、これは様々な市町村等に応分の負担が出るわけですから、そのことも踏まえて日程が決まってきたのだらうと思うんです。なぜ今回は16日間の延長がなされたのか、もし分かれば教えてください。

○松浦商工観光労働部長 期間については、2週間程度の推移を見ていかないと、感染が収まっていくのか、そうではないのかという見極めがなかなか難しいということがございます。医療

関係の皆様方より、沈静化をしっかりと図るには、少なくともそれぐらいの期間が必要だという御意見も出されているところがございます。

2月7日までというお話につきましては、県外においても2月7日まで緊急事態宣言が出されているところはかなりありますので、それより前にこれを解除するのは、現在の宮崎県の状況ではなかなか難しいのではないかと。県民に県外との往来をそこまでの間にやってもいいですよと解除していくのは、現状ではなかなか難しいのではないかとということで、2月7日となったところがございます。

**○山下委員** 分かりました。緊急事態宣言において我々も2週間我慢して何とか自粛していれば収まるのかなと思っていたんですが、途端に宮崎市、都城市でもまたクラスターが発生して、本当に危機感がさらに増して、我々にもファクスが毎回来ますので、本当に大変な状況になってきたなという思いです。

医療が逼迫していることもあって緊急事態宣言が延長されたとも思うんですが、私たちのところに、今回補償金が支払われていない、例えば、代行業界、タクシー業界や酒屋など、様々な仕入れ業者や関連企業が何の手当てもなくここまで我慢してこないといけなかった。そのことで何とかならないかと、その要望がかなり強く出ておまして、また、16日間延長になったということで、このダメージは本当に計り知れないものが出てくると思うんです。

それで、県のほうも何とかしてもらいたいと国へ要望等も出されて、各自民党県連からも要望を出していただくことになったんですが、今、皆さん方が把握されている関連産業の状況を教えてください。

**○松浦商工観光労働部長** 細かなところまで詳

細をつかんでいるわけではありませんが、いろんな団体からの要望であったりとか、それから市町村への要望であったりの中でいいますと、飲食店などが午後8時に閉めることに伴って直接的な影響を受けているところ、これがそこで取引をしている酒屋さんであったりとか、おしぼり事業者であったりとか、そういったところはそれなりの影響が出ていると考えています。

それから、午後8時以降の人出がもうない、ほぼそれに近い状況だと思いますので、そういったところでいいますと、タクシーであるとか、代行業であるとか、そういったところにも大きな影響が出ているのではないかと感じています。

そのほかに、外出の自粛で消費行動そのものが落ち込んでいるところがありますので、それこそいろんなところに影響が出ていますけれども、特に飲食店の営業時間短縮の直接的なところについてはかなりの影響が出ているのではないかと捉えているところであります。今、市町村に対して、どのような要望があるのか、どのような状況なのかというアンケートを投げているところがございますので、早急に取りまとめてまいりたいと思っております。

**○山下委員** 政策をつくっていくのは財政課や総合政策部なんでしょうけれども、地域の声を届けるのは皆さん方だろうと思うんです。皆さん方、商工観光労働部が我々以上に地域の情報のネットワークを一番つくっておかないと、遠見の見物ではいけないと思うんです。だから、その実態を――飲食業とか社交業の皆さん方はこれまで様々な対策がとられてきたんですけども、結局、仕入れ業者等をひっくるめてその関連への対策が何もないわけですから、その意見を早く集約しないとイケないのかなと思っています。

それと、先ほど、国が18日付だったと言ったかな、融資枠を4,000万円から6,000万円に広げましたと。当初、議会に1,800億円の融資枠を提案されて、その範囲内でやっているだろうと思うんですが、これが今、1,543億円実行されているんです。これがコロナの影響が長引くということで、また2,000万円増額された。だから融資枠を広げようという人たちが出てきた場合に、1,800億円の見通しをどのように考えていますか。

**○長倉経営金融支援室長** 1件当たりの平均でいきますと、現在1,450万円程度ということでございまして、2,000万円増額しなくても4,000万円の範囲でできる部分もあるかと思えます。

今後の事業というところは、なかなか見通せない部分もありますけれども、一応3月までというところで1,800億円程度は維持できるのかなと今のところは考えております。

**○山下委員** 分かりました。ぜひお願いをしておきたいと思えます。宮崎県は様々な若手を育てるために、チャレンジショップや様々なUIJターンを事業として展開しながらPRしてきましたよね。そういう人たちがここ3年から5年の中で事業をスタートしたけれども、その人たちが今、一番ダメージを受けていると思うんです。これだけの企業支援ネットワークを今度つくるわけですから、こういうコロナ禍でもそういう人たちの夢が、事業が継続できるよう、ああいう人も生活がかかっているわけですから、ぜひ支援体制をしっかりとやっていただくようお願いしておきたいと思えます。

**○外山委員** 信用保証協会の代位弁済がないというのは、今は借入れで少し勢いがついているだけで、1,000万円なり2,000万円借りた事業者はこれが枯渇すれば明らかに破綻が始まるわけ

です。今の現状を見ていると、2年間の返済猶予を待たずとも1年以内、半年以内に幾つか破綻する可能性はあります。

そんな中で、国が6,000万円に上げたところで実際は貸せないんです。金融機関も信用保証協会もちゃんと決算とか前年度の業績とかを見て判断します。6,000万円まで貸しますよって聞こえがいいけど、結局は返さなきゃいけないお金だということを考えたときに、現状はかなり厳しいです。今は代位弁済がないのは当たり前です。何千万かは手元にあるから代位弁済がないだけであって、あるとき、ある時期に一遍に増える気もします。そういうことを考えながらやってもらいたいのと、単純に上限額が6,000万円になったから6,000万円貸すわけじゃないということですね。新聞報道を見ると、まるで無条件に6,000万円まで貸すように報道されるけれども、実は決算を見たり、過去3年間の決算を見たりするわけですから、もう実情はかなり厳しいと見ています。その辺の現状、実情把握を皆さん方は十分考えておいてもらいたいと思います。

あと、もう一点だけ。緊急事態宣言の2週間の延長ですが、簡単に延長しました。国がやっているんだから必要でしょうけれども、これによって恩恵を受ける、助かる事業者と、当面の2週間でもって何らかの環境変化がないと、いよいよ事業継続が難しい事業者が出てくる可能性もあります。もろ刃です。国も延長している以上は延長するしかないんでしょうけれども、かなり救済される所といよいよ追い込まれる所が出てきます。当局にはその辺のいろんな状況をぜひリサーチしておいてもらいたいと思います。部長、何かありますか。

**○松浦商工観光労働部長** 今、外山委員から御



指摘のありました1点目の、今は資金がまだあるからいいですが、これがなくなったらというところですけども、通常は経営の中で戦略的に資金を使っていくべきなのですが、そこところが底をついたらどうするんだというふうなところが早晚出てくるのではないかと。これは我々も非常に危惧をしております。そういう状態にならないのが一番いいんですけども、そうなったときにどのような再建策を組んでいくのかとかいうようなことはいち早くスタートさせることが肝要だと思っております。そういう意味でこのネットワーク会議をできるだけ早く実効性のあるものにしていきたいと思っております。

それから、2つ目の御指摘ですけども、緊急事態宣言の延長については、実質的には市町村の御意見とか様々なものがあつたところでありまして、それぞれの事情の中で、県全体としてこれをお願いしたいということで受入れていただいたところがございます。そういうことでありますので、産業界の皆様の中でもいろんな状況があることは理解しておりますので、どういったことに対応すべきなのかについても、市町村もどういったふうな感覚を持っているのか、それから、商工団体としてはどういったふうな感覚を持っているのかなど、今いろいろと情報を集めているところであります。そういう中で、最終的には県と市町村と一緒にやってどういったことができるか、できるだけ早く整理して形にしていきたいと思っております。

**○前屋敷委員** 緊急事態宣言が延長されましたが、今のコロナの感染拡大の状況を見たら、それはもう致し方ないんじゃないかと私自身も思っているところです。

それで、コロナの感染を止めることが第一義

的な課題で、そうでなければ、今論議になっているように、地域の経済が回らない。当然、業績は元どおりには戻らない。また、借りたお金が返せないというこの悪循環になってくるので、まずは感染拡大をどう防ぐかということだと思います。これはもう全庁を挙げてというか、県全体で取り組むべきことで、無症状の感染者の方々をいかに早く見つけるかということが今は最大の課題ではないかなと。そのためには徹底した検査を点と線ではなくて、面的な形でもやっていくということもしながら、早く抑えていくことだと思います。

それから、緊急事態宣言に伴う時短要請の協力金について、今のところは飲食店には当初は2万円だったのが4万円に引上り、そういった意味では倍になったと事業者の皆さん方は大変喜んでおられると直接耳にします。だけど、7日に緊急事態宣言を県が独自で出して、国も同じく7日だったんです。それはもう限られた都府県だけだったんですけど、そこでは協力金が6万円と、4万円との差が出ていることについてはどうなのかという意見もあります。当然そういうのは出てくるだろうと思いますし、それから、関連業者の方々への支援も当然やらなくてはなりません。国へも要望されていることですが、今の状況が長引けば長引くほど影響はだんだん広がって大変な状況になるので、その辺のところの見極めも大事じゃないかなというふうに私は思うんです。国の財源にも頼らなければ、地方の財源だけで賄うということは当然難しいと思いますので、国の回答を最大限早くもらうということと併せて、それが長引けば長引くほど、県がそこは判断をして一定の支援を進めていく必要があると思います。そういうときに、関連業者といってもいろいろあるわ

けですので、どの辺のところまでの支援を見込んでおられるのか、今時点でのお考えがあれば少し聞かせていただきたい。様々な関係があるので難しいとは思いますが、

**○松浦商工観光労働部長** 今の時点でこうですというようなところは、申し上げられる段階ではありません。

国が飲食店以外のいろんなところへの対応をどうするのか、国が直接やる場所についても明確な考え方や基準がまだない状態ですので、それが本県の実情と合わせてどうなのか、そもそも国がそこまで見てくれるのかということもあり、御指摘のとおり、ここは早めに見極めなければならないとは思っております。国のほうにも要請はしているところなんですけれども、決めるのは国ですからという状況が今はあって、我々としても歯がゆい思いをしているのが現実でございます。

そうはいつても、本県の状況をどういうふうにしていけばいいのかについて、国の支援のあるなしというところはとりあえず置いておいて、どういったところが最低限できるのだろうか、やらないといけないのだろうかという考え方をまとめる必要があるだろうと、昨日も知事もそういった発言をされたところであります。そのような作業をまず早急にするべきだろうということで、今、市町村とかそういったところに対して意見を集めているような段階であります。そのような状況であるとしか今は申し上げられません。早急にそういったところをまとめてまいりたいと思っております。

**○前屋敷委員** ぜひ、部長が今お答えになられたように、県でやれることは最大限やるというような立場で、今の状況をしっかり把握していただきたい。それと、今、個人も含めてです

ど、事業者の皆さん方、県内ではそういったところがどういう状態にあるのかというのはつぶさに把握していただきたい。その上で対策を打っていくことが大事かと思っておりますので、お願いしたいと思います。

**○坂本副委員長** キャンプの対応について質問させていただきます。

先々週の県独自の緊急事態宣言が発令された直後から、地元の宮崎市の方たちからキャンプの対応について心配される声はかなり上がっていたんです。今回、非常に素早い対応、それから適切な対応をしていただいていると思っております。その上で、プロ以外の大学、社会人チームへの対応状況をお聞かせいただきたいんですが。

**○飯塚スポーツランド推進室長** 春の合宿につきましては、本県は野球とサッカー、陸上も多いんですが、2月がプロ野球、Jリーグ等のプロキャンプ、それが終わった後に、2月下旬から3月に社会人、学生のキャンプが実施されているところでもあります。ですから、今回、プロ野球とJリーグが最大限の防止策を取ってキャンプを実施して最後までやり遂げるかどうかというのも一つの判断材料になると思うんですが、基本的にはスポーツ選手は最大限の自己管理をやって、それと、宿舎とスポーツ施設の往復のみという行動範囲がございますので、基本的には受け入れていきたいと考えております。

**○坂本副委員長** 今回はキャンプの受入れにいろいろと制限がかかって、恐らく県外からのお客さんが減る見込みだと思っておりますけれども、先週、青島かいわいのホテル、それから飲食店が緊急事態宣言の影響でかなりお客さんが減っていて、大きいホテルでも、今週から一時的な休業に入られるという状況です。例年、キャン

プのとき、宿泊その他、飲食での売上げをかなり見込んでいたところが、今回の対応でかなり影響を受けており、県全体の経済も影響を受けているんですけれども、特にキャンプの対応は、県で打ち出した、依頼を出した結果として影響を受ける部分もあるかと思えます。そういったところへの手当てをしっかりといただければと思っております。

**○丸山観光経済交流局長** 大変重要な御指摘を頂きましてありがとうございます。副委員長がおっしゃいましたとおり、今、宿泊の関係を含めて観光事業者には、今回の緊急事態宣言で大変大きな痛手が出ております。観光サイドでは需要喚起ということでこれから準備をしっかりとしていきたいと思っております。まずは今回の感染症がどういう状況で収まっていくのか、そのタイミングをしっかりと捉えながら、幸いといえますように、本年度は様々な補正予算を組ませていただいておりますので、それを最大限有効に活用して対応していきたいと考えております。

**○日高委員** プロのキャンプについて、いくつかお伺いしたいと思います。昨日の会議の資料を見させていただきますと、まず、第1波目、今年の4月、5月までは感染者が17人だったわけです。春に比べると50倍近くになっており、全国でも10万人当たりの感染者数がワースト3になるということで、大変な宮崎県のこの時期に観客が入らないということはあっても、キャンプが来てくれるということは本当にうれしいことだと思っております。ですから、この時期にあってもニュース等でしっかりと宮崎県をPRしていけるかなと思っております。

ただ、その中で、一番気をつけなくてはいけないのは、宮崎県のキャンプに来ているときに

絶対に感染させてはいけないということです。そうなれば、もうテレビでばっと一面に出てしまうわけですから、県民の問題もありますけれども、来てくれている人たちに何とかして絶対に感染させないための体制が一番大事だと思うんです。その件については、彼らはプロですから、彼らなりにもう自分たちでしっかりとそれは考えてやっていけるでしょうけれど、例えば、受入れる自治体や宿泊関係のホテルといったところのPCR検査について、選手は1週間ごとに定期的にされることになってはいますが、県内のこういったキャンプに関わるそういった人たち、この辺のPCR検査というのはどの程度なのか。やっぱり1週間に一回ぐらいは考えておられるのか。

**○飯塚スポーツランド推進室長** 例えば、日本野球機構なりJリーグなりが打ち出す統一ルールがございまして、それに加えて、各球団、チームがさらに求める部分がございまして、それを今情報収集して受入れ自治体等と調整しておるんですけれども、基本的にはチームに接するスタッフ、それと宿泊施設、警備会社、バスでの運搬の際に接する方、イベントスタッフ等々、直接的に接する機会のある方にはPCR検査を受けることになっております。頻度につきましては、1週間ごとにやることを要望しているチームもございまして、当初、キャンプインのときまでには済ませておくと、陰性確認しておくということもございまして、今からその辺の詳細が分かってくるとは思いますが、そういった状況にございまして。

**○日高委員** その辺は今から打合せをしながらということでしょうけれども、これはおもてなしの精神として徹底していただかないと、この辺が漏れてくれば、結局、選手に迷惑がかかっ

てしまう。宮崎県のイメージにもつながってくるわけですので、その辺は球団からの要望があるかもしれませんが、受入れをする側としてしっかりと徹底していただきたいと思っています。

それから、もう一点、3ページの下のほうのもし万が一のときの受診体制です。聞き漏らしたかもしれませんが、今の段階であらかじめ指定した医療機関とちゃんと連携は取れているんですよ。

**○飯塚スポーツランド推進室長** 例えば宮崎市、日南市、西都市とか、フェニックスリーグが開催された市町村については、11月の時点ですくりに上げていまして、実は宮崎方式ということでJリーグの会議や日本野球機構の会議とかでも紹介されているんです。今回、それが6市1町に増えますので、例えば綾町だったりとか、そういったところには、事前にこういった体制をしっかりとつくっていただきたいということで準備をしております。

**○日高委員** 最後になりますけど、結局、今から先の感染者数がどうなるかはまだ全然分からない状況ですので、今の段階ではオーケーということが出ている医療機関も、今後はどうなるか分からないということは、これはもう当たり前の話ですから、テレビでも再三言われていますけど、何日も入院できない状態とか、検査もできない状態、そういうことにはならないでしょうが、そこら辺のところは本当にしっかりとカバーをしていただくようお願いいたします。

**○田口委員** 一点確認させてください。5ページのところです。各球団のキャンプの実績が出てきておりますが、以前に説明があったのかもしれませんが、ジャイアンツが宮崎県でやって、その後、沖縄県に行くと聞いています。広島カープはなぜか今回、1軍は全て沖縄県に移った

と聞いておりますが、2軍は宮崎県でずっとキャンプすると。Jリーグのほうは、川崎フロンターレが何か宿泊所の関係で泊まれなくなった、こっちに来られなくなったというのは聞いてるんですが、広島カープは1軍が最初から沖縄県ということで、どういう理由で宮崎県を回避したのか。感染者数でいうと、宮崎県よりもはるかに多い沖縄県に1軍が最初から行って、2軍は何で宮崎県の日南市でキャンプするのか。私は聞かれたときにどうも答えようがありません。広島はその辺でどういう理由を言っているのか教えていただきたいです。

**○飯塚スポーツランド推進室長** 観光経済交流局長が松田オーナーと直接話をされたときにお聞きしたんですけれども、まず、宮崎キャンプに来る観客と沖縄キャンプに来る観客数は1桁違うぐらい宮崎県の方が多いです。それが1点と、もう一つは、カープ一本道とか、本当に触れ合えるような宿舎から球場までの動線、これが沖縄県はホテルから球場がバス直結で横づけするというので、オーナーが言われたのは、まず、キャンプで選手を守るという意味もありますけれども、観客から感染者を出したくないという思いもございまして、今回については1軍は直接沖縄県入りをする判断をされて、来年以降はまた戻ってきますよというお話は聞いております。

あと、川崎フロンターレにつきましては、おっしゃいますとおり、綾町の宿泊施設がなくなったということもございまして、もともと川崎フロンターレは1月中旬から2週間程度やっていて、それから沖縄県に入っていたんですけれど、今年は天皇杯があって、もともと2月から始動する予定で今、地元で練習をして沖縄直入りになったんですけれども、これにつきましても来

年どこかでできないかとチームとは調整していきたいと考えております。

○**田口委員** そうすると、今回、全てのチームのキャンプは無観客ということになっているわけですね。そういう話があったときに、いや、宮崎県でも無観客でと。そして一本道、それを通らなくちゃいかんものなのか。今年は例外だからバスで球場まで行く対策をとることは考えられなかったのか。もし無観客でも天福球場での状況とかがテレビで毎日出ることは宮崎県にとっても非常にイメージアップです。それが今度いきなり沖縄県でというのは、これは宮崎県にとって非常にマイナスで、よっぽど有名選手が入らない限りは2軍のキャンプがテレビに出ることはまずないですから、その辺りの提案はできなかったんですか。

○**丸山観光経済交流局長** 今、室長が申しましたとおり、私が広島県のほうまで向かいましてオーナーに直接お会いして来年のキャンプについて御相談したのが、昨年はまだこういう状況の前でございまして、今年のキャンプはどうされますかと、ぜひ宮崎県でという話の中で、広島球団としては、感染症のことを考えたときに、今年はそこに最大限注視したいというようなことを当初からお考えでした。宮崎県でのキャンプは来年が60年目という非常に大きな節目ですので、そこは分かっているよと。ぜひ今年は特別な対策が必要な年だから最大限選手を守るといふことで、今申し上げましたとおり、沖縄県と宮崎県の立地環境が全然違うということを経験としてはお考えになられて、それはもう今の観客を入れる、入れないの前提の段階で判断をされていたという状況でございます。

○**田口委員** もう残念ですけど、決まったことですから、これ以上は追及しません。ぜひ来

年はきっと来てもらえるように。

それと、今からキャンプに来る人ですけれども、また宮崎県で爆発的に感染が広がったら、それも回避される可能性があるんで、これも宮崎県、特に宮崎市が非常に多いですから、この対策を今後もしっかりやっていかないと、これからも今年の夏の予定がまた狂ってくる可能性がありますので、これはもう県民を挙げて一緒にやっていかなくてはならないことだと思っております。

○**武田委員長** ほかに質疑はないでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**武田委員長** それでは、以上をもって商工観光労働部を終了いたします。執行部の皆様、お疲れさまでした。

暫時休憩いたします。

午前10時51分休憩

---

午前10時53分再開

○**武田委員長** 委員会を再開いたします。

その他、何かありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**武田委員長** それでは、以上をもって本日の委員会を終了いたします。

午前10時53分閉会

署 名

商工建設常任委員会委員長 武 田 浩 一